

学校課題研究授業① 6月19日（平成25年度）

学校課題

自分の言葉で考え、伝え合える児童の育成

—基礎的な力をもとに、思考を広げ表現できるようにする取組—

本校では、上記のような学校課題を設定し、研究に取り組んでいます。

本年度は、言語力の基礎となる語彙力を育成し、さらに思考力・表現力を豊かにしていきたいと考えています。そこで、伝え合う力を「共感的な人間関係を土台に、豊かな語彙をもち、適切な言葉を選んで自分の考えを広げたり深めたりする力」ととらえ、言語力の向上をめざして研究を進めていきます。

今回の授業は、4年生の道徳です。主題名は「人の気持ちを考える」で、「人が共に支え合って生きていることを知り、相手の気持ちを思いやり、親切にすることの大切さについて自覚を深める」がねらいでした。学校課題に関わる授業の視点は、「少人数での話し合いで、互いの意見の共通点や相違点を考えながら伝え合うことができていたか」ということでした。

VTRを活用した導入、寸劇の導入、心のノートの活用、展開のテンポのよさ、タイマーを使つての活動の切替、発問と切り返しなど指導者の工夫がいろいろ盛り込まれていました。

基盤となる学級経営、学業指導がよくできているから、子どもたちは、学習に意欲的で、全体でも、小グループでも発言が活発で、友達の発言を大切にしながら、自分の思いも進んで伝えようとしていました。また、カードを活用したり、全員が意見や質問を返したりする毎日の1分間スピーチの取組や日常的な授業の成果が確実に現れていて、共通点・相違点を意識した聞き方や発言、理由や根拠を添えようとする言い方、付け足しなど発言の意図を明確にしようとする言い方など、聞く・話すスキルがよくできている子が多かったです。

小グループの話し合いを活性化し、より機能的にしていくための手だて（事前、関連する活動、日常的な取組、本時の中での支援、ツール、活動の工夫、条件設定など）を明らかにしていくこと、全学級で研究の基盤である学級経営・学業指導の充実に努めていくこと、どの学級においても日常的・継続的な言語活動の明確化に努め実践につなげていくことなどが課題です。

